

～若手職員が活躍する事業現場の紹介～

H30-12

渡島総合振興局 函館建設管理部 江差出張所

治水担当 主任 **野口 芳伸** (39歳)

【経歴】

- ・平成29年4月道職員採用
- ・函館建設管理部 江差出張所 治水担当
- ・前職 民間建設業

□ 業務内容

江差出張所は檜山管内江差町を始めとする6町を管轄しており、3名の治水担当者が管内の河川、ダム、砂防、地すべり、急傾斜事業を分担しています。私は河川事業（二級河川厚沢部川）をメインに、予算要求から工事発注の為の積算業務や工事監督を行っています。

□ 民間企業との違い

民間勤務時代は、工事の利益と高品質の現場づくりを追求してきましたが、道職員の今は、全体の奉仕者として地域の方の生命や財産を守るため日々業務を行っています。

○道職員の良いところ

大企業並みに福利厚生が充実し、給与も安定しています。民間時代は個人的な理由ではなかなか取得しづらかった有給休暇も、今は周りの仲間がサポートしてくれるおかげもあり取得することができます。給与は民間時代と変わりませんが、休日の取得日数が増えました。

○がんばりどころ

がんばりどころも数多くあります。胆振東部地震は記憶に新しいですが、一度災害が発生した際や管理している施設に異常が発生した際には、誰よりも早く駆け付け、夜通し対応することもあります。私は今、道職員としての責任を感じながら毎日勉強の日々ですが、同時にやりがいも感じながら業務を行っています。

□ 民間から道職員への転職を考えている方へ

道職員への転職はハードルが高く、大きい会社で経験を積んだ人しか入れないとか、若くないと入れないとか、自分には無理だと思っている方がいれば、それは間違いです。私は50人にも満たない小さい建設会社からの転職ですし、30代後半での採用で、同期の中には40代半ばの人もいます。採用後の仕事内容について不安を感じる方がいると思いますが、民間企業等での経験があれば、周りの先輩や上司からのサポートもあるので心配ないと思います。道職員に興味がある方は、ぜひチャレンジしてほしいです。

□ C区分の受験対策について

受験対策は土木施工管理技士程度の知識があれば特に必要はないと思いますが、私は作文が不得意なため、試験当日の小論文の課題に対して、問題を想定して手書きで実際に書いてみたりしました。

この時、毎日パソコンを使用してばかりで、漢字が書けなくなっている自分に気づかされました。

面接は2回ありましたが、これまでの経験や志望動機のほか、趣味の話題や休日の過ごし方など、人物を重視した面接でした。ぜひ、笑顔で元気よく答えて道職員になりたいという熱意を伝えてください。

